



平成26年10月31日

各位



会社名 株式会社アイレックス
 代表者名 代表取締役社長 畑 徹
 (JASDAQ・コード 6944)
 問合せ先
 取締役 管理本部長 加藤 哲也
 電話 03-3245-2011

業績予想の修正及び特別損失に関するお知らせ

平成26年5月14日に公表した平成27年3月期の業績予想を下記の通り修正しますのでお知らせいたします。また、平成26年8月29日に開示しました「特別損失の計上に関するお知らせ」につきまして、特別損失の計上額が決定しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成27年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,900	百万円 65	百万円 65	百万円 20	円 銭 0.68
今回修正予想(B)	1,733	9	13	△4	△0.15
増減額(B-A)	△167	△56	△52	△24	
増減率(%)	△8.8	△86.2	△80.0	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,852	29	32	7	0.26

(2) 平成27年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,000	百万円 200	百万円 200	百万円 100	円 銭 3.40
今回修正予想(B)	3,800	140 ～170	140 ～170	50 ～90	1.70 ～3.06
増減額(B-A)	△200	△60 ～△30	△60 ～△30	△50 ～△10	
増減率(%)	△5.0	△30.0 ～△15.0	△30.0 ～△15.0	△50.0 ～△10.0	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	3,732	171	178	41	1.42

(3)平成27年3月期 第2四半期(累計) 個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 1,200	百万円 20	百万円 5	円 銭 0.17
今回修正予想(B)	997	△41	△42	△1.45
増減額(B-A)	△203	△61	△47	
増減率(%)	△16.9	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年3月期第2四半期)	1,181	△27	△48	△1.66

(4)平成27年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,500	百万円 80	百万円 30	円 銭 1.02
今回修正予想(B)	2,200	△25 ～0	△35 ～0	△1.19 ～0.00
増減額(B-A)	△300	△105 ～△80	△65 ～△30	
増減率(%)	△12.0	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	2,332	27	△68	△2.33

2. 修正の理由

平成27年3月期第2四半期連結累計期間の当社売上高は、ファームウェア開発及びシステム構築等の領域では、ほぼ計画通り推移しました。通信関連でのソフト開発が開発需要の伸び悩みにより、当初予想を下回る見込みです。これに伴い営業利益、経常利益につきましても当初予想を下回る見込みであります。四半期純利益につきましても、売上高の減少に加え当第2四半期連結累計期間に計上いたしました特別損失7百万円の影響により、当初予想を下回る見込みです。

平成27年3月期通期の業績予想につきましても、当第2四半期連結累計期間の売上高の減少等により、売上高並びに各利益の減少が見込まれるため修正いたします。

当社グループは今回の業績予想の修正より、業績予想をレンジ形式での開示に変更しておりますが、レンジ形式による開示へ変更したのは、ソフトウェア開発業界の活性化により、人員不足に伴う外注費の高騰により外注費予測に不確定要素が多くなったためです。

(注) 上記予想値につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

3. 特別損失の計上額の確定

平成26年8月29日に「特別損失の計上に関するお知らせ」で開示しました件につきましては、平成27年3月期第2四半期におきまして、特別損失7百万円を計上いたします。

以上